

近藤忍後援会 2015 年活動報告書

発行責任者
後援会長 江野澤政広



後援会の皆様には日頃からご理解を賜り有り難うございます。

春に行われました木更津市議会議員選挙におきましては後援会のご協力とご支援のお陰をもちまして議員定数を削減する中、近藤忍は3期目の当選を果たすことが出来ました。現在は中堅議員として木更津市のために精力的な活動を進めております。本年も後援会の皆様に議会活動の一端を報告させていただきます。

なお、旧年中の報告でありますので年始早々に送るべきものと思いますが、取りまとめに時間が掛かりまして郵送が遅くなりましたことをご容赦願います。

2016年2月

後援会長 江野澤政広

1. 定例議会での活動報告

近藤忍は、副議長を務めていた3月の定例議会を除く3回の定例議会にて個人質問を行いましたので、その概要を報告させていただきます。詳細は木更津市と近藤忍のホームページに記載されております。

6月定例議会：「公共施設マネジメント・高速バスによる活性化」

木更津市には1960年代頃の人口増加の中で整備された公共施設が数多くあり、それらは老朽化して対策が必要となっています。福祉の負担が増える中で全施設を新たに作り直す財政的な余裕はなく、施設の統廃合も念頭に置いた計画的な対応が必要となります。木更津市でもそれに向けた取り組みが始まりましたので、担当組織に権限を持たせることや現在進行中の個別計画との整合について質問しました。

また、金田総合バスターミナルの有効活用を目指し中野畑沢線の流れを円滑にする信号機の改良や今後の路線計画等について質問しました。特に木更津～金田間の6.9km間にバス停がないことは岩根地区住民の利便性低下に繋がっていることから「高速桜井」のような一般道における新規バス停の追加を検討するようにバス会社等と協議を進めるように求めました。具体的な回答は得られませんが今後も引き続き取り組む予定です。

9月定例議会：「次世代への対応・高齢者への対応」

木更津市は2014年に特殊合計出生率が県内最高となりましたが人口維持に必要な値は下回っております。人口施策としての数値目標や子育て世代の誘致、多産世帯の奨励や母子家庭の支援策等について質問しました。

また、高齢者が積極的に社会参加をする事で健康を維持するよう、公民館活動や市民農園施策、住民参加による見守り組織の設立などの質問をしました。福祉担当部局だけではなく市全体で総合的な施策として取り組む課題であり、それが住民自治の活性化や扶助費の削減にも寄与していくと考えています。

12月定例議会：「新市役所・区画整理・社会教育」

9月末に移転した新市役所庁舎の状況と評価について質問しました。不便な点は改善し市民が使いやすい庁舎となるよう働きかけてまいります。

また、請西千束台[右写真]と金田西の区画整理事業は事業完了まで数年に近づいているため現状や諸課題の質問を行いました。真舟小学校と第二中学校は生徒数増加による教室不足が明かとなり今後の課題となります。

社会教育については図書館と博物館の質問をしました。施設の指定管理制度や今後の在り方、図書館行政の広域化、金鈴塚古墳出土品の国宝化への取り組みなど、様々な課題を指摘しました。



※ 議会質問の全文は近藤忍のHP [<http://sinobu.com/situmon/sindex.html>] と
木更津市議会のHP [<http://asp.db-search.com/kisarazu-c/>] で読むことが出来ます。
またインターネット配信 [<http://www.kisarazu-city.stream.jfit.co.jp/>] では動画を見る事が可能です。

2. 委員会や議会内における活動報告

改選前の4月までは**副議長**として、滝口議長とともに民主的な議会運営に尽力しました。また、近隣市の正副議長と合同で宇都宮市の小中一貫教育と地域学校、日立市の産業振興施策を視察しました。

改選後の新たな議会では**総務常任委員会委員長**として行政改革、公共施設のマネジメント、中期財政計画、マイナンバー制度等について審査を進めました。10月には焼津市の行政へのタブレット導入、高浜市の行政窓口等の外部委託、瀬戸市の公共施設マネジメントなどを視察しました。

総務常任委員長が務めることが慣例の**決算審査特別委員委員長**としては7年連続して審議に加わっている経験を通じて審査手順や発言方法の見直しを行い、充実した審議が出来るように改革しました。

今期からは**基地対策特別委員長**も拝命し、江川総合運動公園の拡張事業等に取り組んでおります。10月30日に防衛省がMV-22「オスプレイ」の整備拠点として木更津基地を使用すると発表されたことを受け防衛省へ説明を求めるとともに、防衛大臣に向けた4項目（①基地周辺対策経費の確保と江川総合運動場の早期整備 ②住宅防音事業の充実強化 ③地域防災と地域産業活性化への寄与 ④基地に関する市民の安全安心の確保と市民に対する情報提供）の要望書を議会発議案として取りまとめ、12月22日に防衛省北関東防衛局長に提出してまいりました。



所属する会派の**羅針盤**は、統一地方選挙の結果、メンバー構成に変更が生じましたが、木更津市議会の最大会派として議会改革を進めています。7月には輪島市の回遊性と賑わいのある街づくり、七尾市の広域火葬場整備運営、氷見市の高校体育館を改修した新市役所、金沢市の市民協働推進事業を視察して見識を広めてまいりました。更には9月17日に8項目からなる要望書を渡辺市長に提出しました。要望内容を含めた会派の取り組みは「会派報」として本年1月3日に新聞折り込みをさせていただきました。

3. 地域等における活動報告

廠根駅に快速電車を止めよう！推進協議会の事務局長として、京葉線の快速停車後も総武線の快速停車に向けた取り組みを求め、推進協議会の皆様とともに3月29日に木更津市長に対し要望書を提出しました。

木更津市農業協同組合の理事としては、引き続き農協を通じた地域活動に協力してきました。

地域では、夏の地域交流ラジオ体操や秋の岩根地区文化祭を始め様々な総会や行事に参加し住民の方々と意見交換をし親睦を深めました。春の小櫃川さくら祭りや秋の太田山竹取物語等ではスタッフとして活動しました。

4. 2016年の課題

水道の広域的統合、四市共同事業となる予定の火葬場計画など、広域行政に向けた様々な検討が必要になります。中郷小学校・馬来田の道の駅・新消防庁舎等の建設計画が進みますが、公共施設マネジメントとの整合も注視する必要があります。江川総合運動公園の建設やオスプレイの安全対策等については引き続き防衛省と協議が必要であり、防災対策や行政改革は先送りできない問題だと考えます。

5. 後援会の案内と入会のお誘い

年賀状ならびに年始の挨拶状を近藤忍本人から郵送することは公職選挙法違反となるため、本年も昨年同様に後援会より会員の皆様に対して近藤忍の活動報告をさせていただきました。本書が届くことにお心当たりのない方は、恐れ入りますが下記までその旨をご連絡下さい。

また、近隣や知人で近藤忍後援会へ入会を希望される方が居られましたら、氏名、住所、電話番号等をお知らせ下さい。連絡は後援会事務所を直接訪問いただくか、郵送・電話・FAX・メール等の方法にてお願いします。

住所:木更津市江川 847 TEL:0438-41-1605 FAX:0438-41-1606 メール:info@sinobu.com

